学校番号	3022

令和2年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理Ｂ	単位数	4	年次	3年次
使用教科書	新詳地理Ｂ（帝国書院）、新詳高等地図（帝国書院）						
副教材等	最新地理図表ＧＥＯ（第一学習社） 図説地理資料 世界の諸地域ＮＯＷ2020（帝国書院）、地理統計要覧（二宮書店）						

1　担当者からのメッセージ

・空間軸を意識するため、地図帳で位置を常に確認し、規則性や傾向などをとらえよう。
・最新の統計もみることで、動向が理解できる。
・図表や図説をよく見よう。視覚的にもとらえることができると、より理解が深まる。
・地理的事象に「なぜ」の視点を持ち、論理的に理解をしよう。
・歴史的背景を踏まえた考察を取り入れよう。
・授業は授業プリントを用いて行う。地理は暗記科目ではないので、「空欄を補充し、とにかく覚える」
　という授業の受け方をせず、理由や根拠などをメモを取りながら、理解をするようにしよう。

2　学習の到達目標

・現代世界に生起している諸事象を位置や空間的な広がりとのかかわりでとらえる。
・自然環境や資源、人口、生活文化などの一般原理を明らかにする。
・地域の歴史的背景を踏まえて、国家、州・大陸など大小様々な規模の地域を空間軸と時間軸の両面から特色を明らかにする。
・現代世界に生起している諸事象の空間的な規則性や傾向性、動向などについて考察し、地理的な見方や考え方を培う。
・国際社会に主体的に対応し、平和で民主的な国家・社会を形成する日本国民としての自覚と資質を養う。

3　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a. 関心・意欲・態度	b. 思考・判断・表現	c. 資料活用の技能	d. 知識・理解
観点の趣旨	現代世界の地理的事象に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、国際社会に主体的に生きる日本国民としての責任を果たそうとする。	現代世界の地理的事象から課題を見いだし、それを系統地理的に考察したり、歴史的背景を踏まえて地誌的に考察したりし、国際社会の変化を踏まえて公正に判断して、その過程や結果を適切に表現している。	地図や統計、画像など地域に関する諸資料を収集し、有用な情報を選択、活用することを通して、現代社会の地理的事象を追究する技能を身に付けている。	現代世界の地理的事象についての基本的な事柄や追究の方法を理解し、その知識を身に付けている。
評価方法	・授業での観察 ・記述の点検 （提出物、ワークシート等） ・確認テスト	・定期考査 ・授業での観察及び確認 （発表、論述等）	・定期考査 ・記述の確認及び分析 （ワークシート等）	・定期考査 ・確認テスト ・記述の確認 （ワークシート等）

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			a	b	c	d		
1学期	さまざまな地図と地理的技能	・地理情報と地図 ・地図の種類とその利用 ・地理情報の地図化 ・地図の活用と地域調査			○	○	a:さまざまな地図に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:さまざまな地図の特徴やしくみを考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:諸資料を適切に収集し、有用な情報を選択し、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:さまざまな地図の読図方法や有用性を理解し、その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 観察等
	現代世界の系統地理的考察	自然環境 ・世界の地形 ・世界の気候 ・環境問題	○			○	a:世界の自然環境に対する関心と課題意識を高め、それらを系統地理的に追究する学習に取り組み、世界の自然環境に関する多様性や地域性を捉える視点や方法を身に付けようとしている。 b:世界の自然環境に関する地理的事象から課題を設定し、それらを系統地理的に追究するとともに、世界の自然環境を系統地理的に捉える視点や方法を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の自然環境に関する諸資料を適切に収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取り、分析などを通じて、追究や考察の過程を図表などにまとめたり、発表したりしている。 d:世界の自然環境に関する多様性や地域性を大観するとともに、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察等
		資源と産業	○			○	a:世界の資源、産業に対する関心と課題意識を高め、それらを系統地理的に追究する学習に取り組み、世界の資源、産業に関する多様性や地域性を捉える視点や方法を身に付けようとしている。 b:世界の資源、産業に関する地理的事象から課題を設定し、それらを系統地理的に追究するとともに、世界の資源、産業を系統地理的に捉える視点や方法を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の資源、産業に関する諸資料を適切に収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取り、分析などを通じて、追究や考察の過程を図表などにまとめたり、発表したりしている。 d:世界の資源、産業に関する多様性や地域性を大観するとともに、系統地理的に捉える視点や方法を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察等
		世界の農林水産業	○			○	a:世界の農林水産業について、農業地域区分や林水産業に関する分布や動向などに関する考察を基に、現代世界と日本の農林水産業に関する知識と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:世界の農林水産業について、現代世界や日本の農業の現状と課題を系統地理的に追究するとともに、世界の資源、産業を系統地理的に捉える視点や方法を考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の農林水産業の生産や分布の特徴に関する統計などの諸資料を適切に収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取り、分析などを通じて、追究や考察の過程を図表などにまとめたり、発表したりしている。 d:各農業地域の分布や特徴、世界や日本の農業の動向について、大観するとともに、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察等
		食料問題	○			○	a:食料問題について、食糧需給の地域的偏りや不安定さに関する考察を基に、発展途上国や先進国、日本の食料問題に対する関心と課題意識を高め、それを意欲的に追究し、捉えようとしている。 b:食料問題について、発展途上国や先進国、日本の食料問題の状況とその成因を、系統地理的に捉える視点や方法を多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。 c:食料の生産と消費の地域的偏りに関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し、学習に役立つ情報を適切に選択し、読み取り、分析などを通じて、追究や考察の過程を図表などにまとめたり、発表したりしている。 d:発展途上国、先進国、日本の食料事情の動向について、大観するとともに、系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し、その知識を身に付けている。	ワークシート 定期考査 観察等

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			a	b	c	d		
2学期	現代世界の系統地理的考察	・世界のエネルギー資源 ・鉱産資源	○			○	a:世界のエネルギー･鉱産資源について，エネルギー資源や鉱産資源の分布や動向などに関する考察を基に，エネルギー資源や鉱産資源の利用に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:世界のエネルギー・鉱産資源について，それぞれの資源の特徴や利用法，分布のかたよりを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:エネルギー資源や鉱産資源の生産や分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，資源の生産や分布について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:エネルギー資源･鉱産資源の種類と利用法，分布や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等
		･資源･エネルギー問題	○			○	a:資源・エネルギー問題について，生産・消費の不均衡とさまざまな資源・エネルギー問題の動向に関する考察を基に，世界と日本の資源・エネルギーの利用に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:資源･エネルギー問題について，生産と消費の不均衡や利用法の課題，石油情勢の背景やこれからのエネルギー利用のあり方を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している c:資源やエネルギーの生産と消費に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，資源・エネルギー問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:資源やエネルギーの不均衡や石油情勢，エネルギーのあり方について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等
		･世界の工業	○			○	a:・世界の工業について，工業の発達や立地，工業地域の分布や動向などに関する考察を基に，世界と日本の工業に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:世界の工業について，工業の発達や立地の考え方や世界や日本の工業の現状とその背景，グローバル化が進むなかでの課題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:工業生産や地域的分布に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界の工業について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:各工業や工業地域の特色，分布や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 観察等
		･世界を結ぶ交通･通信	○			○	a:世界を結ぶ交通･通信について，交通や通信の発達に関する考察を基に，交通･通信や情報の一体化と地域差に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:世界を結ぶ交通･通信について，交通や通信の発達によって，交通･通信や情報が一体化する一方で地域差も生じていることを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:各種交通の運行状況やインターネットなど通信の普及に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界を結ぶ交通・通信について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:交通や通信の発達の状況や一体化の進行，地域差の拡大について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			a	b	c	d		
2学期	現代世界の系統地理的考察	・現代世界の貿易と経済圏	○			○	a:現代世界の貿易と経済圏について，貿易や経済圏の動向などに関する考察を基に，世界経済の現状や日本の貿易や経済に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:現代世界の貿易と経済圏について，多様化する貿易や貿易の地域差，経済圏と貿易のあり方を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，現代世界の貿易と経済圏について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:貿易に関する用語や経済圏の組織，世界の貿易の特色や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等
		・現代世界の貿易と経済圏	○			○	a:現代世界の貿易と経済圏について，貿易や経済圏の動向などに関する考察を基に，世界経済の現状や日本の貿易や経済に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:現代世界の貿易と経済圏について，多様化する貿易や貿易の地域差，経済圏と貿易のあり方を系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の国家間や経済圏間の貿易に関する統計などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，現代世界の貿易と経済圏について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:貿易に関する用語や経済圏の組織，世界の貿易の特色や動向などについて，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等
		・世界の人口 ・人口問題	○			○	a:世界の人口と人口問題について，世界人口の分布や動態、発展途上国と先進国などに関する考察を基に，人口構成や人口転換に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:世界の人口について，世界の人口分布の偏りと人口増加の原因，人口構成と人口転換の考え方，国際的な人口移動の背景、発展途上国と先進国が抱える人口問題を，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界や州別・国別の人口分布や動態に関するデータ、人口爆発や少子高齢化などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，世界の人口と世界の人口問題の特色について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界人口の分布と動態，人口構成の特色と人口転換のしくみ、発展途上国、先進国、日本について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等
		・村落と都市	○			○	a:村落と都市について，村落・都市の立地や発達・機能，日本の都市の特徴に関する考察を基に，村落や都市に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:村落と都市について，集落はどのように発生し，どのように都市として発達したか，都市はどのような機能を持ち，構造はどうなっているか，日本の都市の特徴は何かを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:都市の人口や分布，都市の地域構造に関する統計や地図などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，村落と都市について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:村落と都市の立地，発達，機能や日本の都市の特徴について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 定期考査 観察等

学期	単元	学習内容	主な評価の観点				単元（題材）の主な評価規準	主な評価方法
			a	b	c	d		
2学期	現代世界の系統地理的考察	・都市･居住問題	○			○	a:都市・居住問題について，発展途上国，先進国，日本に関する考察を基に，都市・居住問題に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:都市・居住問題について，世界の都市・居住問題の要因と発生のしくみや都市・居住問題の解決には何が必要かを，系統地理的に捉える視点や考察方法を基に多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題に関する統計や事例などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，都市・居住問題について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:発展途上国，先進国，日本の都市・居住問題の特徴や，解決への道筋について，系統地理的に捉える視点や考察方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 定期考査 観察等
3学期	現代世界の地誌的考察	現代世界の諸地域 ・地誌の考察方法	○	○		○	a:地誌の考察方法について，地誌的に考察する三つの理解を基に、地誌の考察に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:地誌の考察方法について，地誌的に考察する三つの方法には、どのような特徴があり、これによって、どのようなことがわかるのかを、多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:地誌的に考察する方法に関する事例などの諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，地誌の考察方法について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:多様な事象を項目ごとに整理して静態的に考察する方法，特色ある事象と他の事象を有機的に関連づけて動態的に考察する方法、対照的又は類似的な性格の二つの地域を比較して考察する方法の三つの方法とはどのような捉え方かを理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 観察等
		・東アジア ・東南アジア ・南アジア ・西アジアと中央アジア ・北アフリカとサハラ以南のアフリカ ・ヨーロッパ ・ロシア ・アングロアメリカ ・ラテンアメリカ ・オセアニア			○	○	a:世界の諸地域の自然・歴史・文化・産業などに見られる地域的特色や地球的課題を基に、世界の諸地域に対する関心と課題意識を高め，それを意欲的に追究し，捉えようとしている。 b:世界の諸地域の地域的特色や地球的課題を，項目ごとに整理して静態的に考察する奉納を基に，多面的・多角的に考察し，その過程や結果を適切に表現している。 c:世界の諸地域の自然・歴史・文化・産業などに関する統計や主題図・写真など諸資料を適切に収集し，収集した資料から，有用な情報を適切に選択して，これを基に，地誌の考察方法について読み取ったり図表などにまとめたりしている。 d:世界の諸地域がそれぞれにもつ歴史的背景をふまえた地域の変容の実態、各地域の人種，民族的特徴，宗教、産業などの地位的特色や地球的課題について、項目ごとに整理して静態的に考察する方法を理解し，その知識を身につけている。	ワークシート 問題演習 観察等

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断・表現　　c:資料活用の技能　　d:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点
・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。